



2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月15日

上場会社名 アスкул株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2678 URL <https://www.askul.co.jp/corp/investor/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 CEO(氏名) 吉岡 晃
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 CFO(氏名) 玉井 継尋 (TEL) 03-4330-5130
 四半期報告書提出予定日 2024年3月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年5月21日~2024年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	350,063	4.7	12,493	20.6	12,290	19.7	16,146	127.6
2023年5月期第3四半期	334,224	5.1	10,361	△2.6	10,269	△3.5	7,093	△0.5

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 16,405百万円(128.2%) 2023年5月期第3四半期 7,188百万円(△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第3四半期	165.62	165.54
2023年5月期第3四半期	72.79	72.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第3四半期	233,217	79,969	33.0
2023年5月期	227,506	66,876	28.2

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 76,895百万円 2023年5月期 64,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2024年5月期	—	18.00	—	—	—
2024年5月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2023年5月期期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 30周年記念配当 2円00銭

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年5月21日~2024年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	5.2	16,500	12.9	16,200	12.1	18,000	83.9	184.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年5月期3Q	97,564,700株	2023年5月期	97,518,800株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	39,438株	2023年5月期	62,406株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年5月期3Q	97,489,679株	2023年5月期3Q	97,452,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
販売費及び一般管理費の明細（連結）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年5月21日から2024年2月20日まで）におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進んだことにより企業活動・個人消費行動に持ち直しがみられ、大手企業から先行して雇用・所得環境の改善が進んでいることから緩やかな回復が続くことが期待されています。一方、ロシアのウクライナ侵攻等による原材料・エネルギー価格の上昇や円安による輸入価格の上昇は国内物価を上昇させ、家計・企業の活動に影響を与えています。

このような状況の中、当社グループは、前連結会計年度に達成した「売上成長カーブを変える」を継続しながら、2024年5月期では「利益成長カーブも変える」を最大のミッションと位置付け、中期経営計画（2022年5月期～2025年5月期）に掲げた最終年度の業績目標達成に向け、取扱い商品数の拡大に加え、B to B事業での積極的な広告費・販促費の投下、本格稼働した新アスクルWEBサイトへのお客様の移行等、当社グループの成長に繋がる積極的な施策を進めております。

また、当社は「エシカルeコマース」の実現を目指していることから、いわゆる「物流2024年問題」解決の一助となるべく、B to B事業のASKULおよびソロエルアリーナの2023年10月31日18時以降のご注文分から、配送パー（注1）を変更しております。お客様にまとめてご注文いただくことで、サプライチェーン全体における環境負荷・労働負荷低減を進め、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みも進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高3,500億63百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益124億93百万円（前年同期比20.6%増）、経常利益122億90百万円（前年同期比19.7%増）、「ALP首都圏」火災に係る損害賠償請求訴訟の判決確定により受取損害賠償金117億7百万円を特別利益に計上したことで親会社株主に帰属する四半期純利益161億46百万円（前年同期比127.6%増）となり、第3四半期連結累計期間としては、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益いずれも過去最高となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりです。

<eコマース事業>

当社グループの主力分野であるB to B事業につきましては、仕事場で働く全てのお客様のご要望にお応えすべく、飲料、日用消耗品等の生活用品商材、抗原検査キット等の新型コロナウイルス感染症関連商材、袋・梱包資材等のMRO（注2）商材など、幅広く商品を取り揃えております。新型コロナウイルス感染症関連商材については、新型コロナウイルス感染症対策の落ち着きにより、抗原検査キット、消毒剤等の売上高が減少しましたが、ペットボトル飲料や日用消耗品等の生活用品の売上高が順調に増加しました。新型コロナウイルス感染症関連商材の特需の減少やご注文数の計画未達等の影響はあるものの、主力商品の一部の価格改定等による購入単価の上昇や2022年7月の新アスクルWEBサイト構築に関連する一部機能（中堅大企業向けのWEBサイトであるソロエルアリーナサイトのオープン化）のリリースの効果等により、当社サービスによる中小企業向け、中堅大企業向け売上高は、ともに増加しております。2023年7月に本格稼働した新アスクルWEBサイトへのお客様の移行は、当第3四半期連結会計期間末で約3割が完了しており、2024年8月までに全ての移行が完了するように進めてまいります。

また、前連結会計年度末に連結子会社化した株式会社AP67の事業子会社であるフィード株式会社等の業績が当第3四半期連結累計期間を通じて寄与したことや、連結子会社である株式会社アルファパーチェスの業績が順調であることが、売上高の成長に貢献しております。

この結果、B to B事業の売上高は、前年同期比で263億2百万円増収の3,039億10百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

B to C事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は、LINEヤフー株式会社（旧Zホールディングス株式会社）のeコマース事業のコスト最適化によるキャンペーン変更も影響し、減収となりましたが、概ね計画通り進捗しました。2023年10月に「LOHACO by ASKUL（LOHACO本店）」と「LOHACO Yahoo!店」を統合し、両店舗の特長を結集した形でYahoo!ショッピング店内にてリニューアルオープンしており、第4四半期においてはLINEヤフー株式会社と連携した販促施策や商材拡大等により「LOHACO」の売上高再成長を進めてまいります。

この結果、「LOHACO」の売上高は、前年同期比で100億54百万円減収の263億68百万円（前年同期比27.6%減）となり、B to C事業合計で、前年同期比で101億61百万円減収の393億4百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

以上の結果、両事業を合計したeコマース事業の売上高は3,432億15百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

売上総利益は、生活用品の売上高の増加や一部商品の価格改定等により売上総利益率が改善し、867億71百万円（前年同期比8.5%増）と大幅な増益となりました。

販売費及び一般管理費は、主力商品の一部の価格改定や配送バーの変更によるお客様のまとめ買いが進んだ影響等により、一箱あたり売上単価が上昇し、売上高配送費比率が減少しました。一方で、投資を行ってきた新アスクルWEBサイトや「ASKUL東京DC」の稼働によりソフトウェア償却費や減価償却費が増加し、また、当連結会計年度の重点施策の一つとして、BtoB事業のサービス名称や戦略商材の取扱い認知度向上を目的としたテレビCMの実施とそれと連携したインターネット広告出稿の増加等により、売上高販管費比率が前年同期比0.4ポイント増加しました。以上の結果、販売費及び一般管理費は741億70百万円（前年同期比6.8%増）となり、営業利益は126億1百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

<ロジスティクス事業>

ASKUL LOGIST株式会社の当社グループ外の物流業務受託の売上高は概ね前年同期と同水準で推移しました。価格改定等により収益性は改善しており、当第3四半期連結会計期間（3か月）においては営業損失から営業利益への転換を達成しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は62億65百万円（前年同期比2.3%減）、営業損失は1億15百万円（前年同期は営業損失1億95百万円）となっております。

<その他>

嬌恋銘水株式会社での飲料水の販売が上期において堅調に推移したものの、製造ラインの一時的な不具合等により製造数量および販売数量が減少し、減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は14億6百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は24百万円（前年同期比44.3%減）となっております。

- (注) 1 基本配送料を当社が負担する注文金額基準。
2 Maintenance, Repair and Operationsの頭文字をとった略称で、工場・建設現場・倉庫等で使用される消耗品・補修用品等の間接材全般を指します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,332億17百万円となり、前連結会計年度末と比べ57億10百万円増加いたしました。これは主に、「ALP首都圏」火災に係る損害賠償請求訴訟の判決確定に伴い未収入金が138億71百万円、増収により受取手形、売掛金及び契約資産が35億49百万円増加した一方、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、決済日が連結会計年度末日である電子記録債務84億44百万円が前連結会計年度末残高に含まれていたこと等により現金及び預金が79億76百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,532億48百万円となり、前連結会計年度末と比べ73億82百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債務が107億84百万円が減少した一方、支払手形及び買掛金が60億61百万円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は799億69百万円となり、前連結会計年度末と比べ130億92百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益161億46百万円の計上に対し、配当金の支払いが35億9百万円あったことにより、利益剰余金が126億37百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は33.0%（前連結会計年度末は28.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月4日に公表いたしました2024年5月期（通期）の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,223	58,246
受取手形、売掛金及び契約資産	51,954	55,503
商品及び製品	22,017	22,762
原材料及び貯蔵品	306	263
未成工事支出金	112	79
未収入金	12,623	26,494
その他	2,757	2,618
貸倒引当金	△36	△30
流動資産合計	155,958	165,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,031	10,345
減価償却累計額	△4,648	△5,065
建物及び構築物（純額）	5,382	5,279
土地	247	257
リース資産	30,268	31,667
減価償却累計額	△11,850	△14,052
リース資産（純額）	18,417	17,615
その他	11,719	12,388
減価償却累計額	△8,729	△9,155
その他（純額）	2,989	3,232
建設仮勘定	825	1,202
有形固定資産合計	27,862	27,588
無形固定資産		
ソフトウェア	7,950	17,473
ソフトウェア仮勘定	11,037	1,606
のれん	5,533	5,130
顧客関連資産	8,064	7,672
その他	9	11
無形固定資産合計	32,594	31,895
投資その他の資産		
投資有価証券	159	159
繰延税金資産	4,226	930
その他	7,545	7,512
貸倒引当金	△840	△806
投資その他の資産合計	11,091	7,795
固定資産合計	71,547	67,278
資産合計	227,506	233,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,614	60,676
電子記録債務	33,683	22,899
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	10,127	8,290
未払金	12,356	11,284
未払法人税等	2,677	1,844
未払消費税等	423	1,816
引当金	373	1,050
その他	5,863	6,097
流動負債合計	120,499	114,340
固定負債		
長期借入金	10,337	9,623
リース債務	16,850	15,882
退職給付に係る負債	4,764	4,975
資産除去債務	3,190	3,196
繰延税金負債	2,750	3,152
その他	2,236	2,077
固定負債合計	40,130	38,907
負債合計	160,630	153,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,189	21,233
資本剰余金	14,906	14,941
利益剰余金	28,120	40,757
自己株式	△92	△58
株主資本合計	64,124	76,874
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	20	20
その他の包括利益累計額合計	20	20
新株予約権	0	0
非支配株主持分	2,729	3,073
純資産合計	66,876	79,969
負債純資産合計	227,506	233,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月21日 至 2024年2月20日)
売上高	334,224	350,063
売上原価	253,896	262,866
売上総利益	80,327	87,196
販売費及び一般管理費	69,965	74,703
営業利益	10,361	12,493
営業外収益		
受取利息	29	29
助成金収入	51	41
その他	82	45
営業外収益合計	163	116
営業外費用		
支払利息	197	296
その他	58	22
営業外費用合計	256	319
経常利益	10,269	12,290
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	22	-
受取保険金	163	-
受取損害賠償金	-	11,707
その他	5	-
特別利益合計	191	11,712
特別損失		
固定資産除却損	54	40
その他	2	10
特別損失合計	56	51
税金等調整前四半期純利益	10,404	23,951
法人税、住民税及び事業税	3,191	3,849
法人税等調整額	36	3,696
法人税等合計	3,228	7,545
四半期純利益	7,175	16,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	258
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,093	16,146

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月21日 至 2024年2月20日)
四半期純利益	7,175	16,405
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	12	△0
その他の包括利益合計	12	△0
四半期包括利益	7,188	16,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,106	16,146
非支配株主に係る四半期包括利益	81	258

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(受取損害賠償金の計上)

「ALP首都圏」火災に係る損害賠償請求訴訟の判決確定に伴い、損害賠償金およびこれに対する遅延損害金11,707百万円を「受取損害賠償金」として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
B to B 事業	277,607	—	277,607	—	277,607	—	277,607
B to C 事業	49,465	—	49,465	—	49,465	—	49,465
ロジスティクス事業	—	6,410	6,410	—	6,410	—	6,410
その他	—	—	—	740	740	—	740
顧客との契約から 生じる収益	327,073	6,410	333,483	740	334,224	—	334,224
外部顧客への売上高	327,073	6,410	333,483	740	334,224	—	334,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	770	770	△770	—
計	327,073	6,410	333,483	1,511	334,995	△770	334,224
セグメント利益 又は損失(△)	10,536	△195	10,341	44	10,385	△23	10,361

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年5月21日 至 2024年2月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
B to B 事業	303,910	—	303,910	—	303,910	—	303,910
B to C 事業	39,304	—	39,304	—	39,304	—	39,304
ロジスティクス事業	—	6,265	6,265	—	6,265	—	6,265
その他	—	—	—	582	582	—	582
顧客との契約から 生じる収益	343,215	6,265	349,480	582	350,063	—	350,063
外部顧客への売上高	343,215	6,265	349,480	582	350,063	—	350,063
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	823	823	△823	—
計	343,215	6,265	349,480	1,406	350,886	△823	350,063
セグメント利益 又は損失(△)	12,601	△115	12,486	24	12,510	△17	12,493

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△17百万円は、セグメント間取引消去になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年3月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

当社は本日開催の取締役会で、新たな株主還元方針として、以下のとおり定めております。

「当社の利益配分は健全なキャッシュ・フローと安定した財務体質を維持しつつ、中長期的な企業価値向上のための成長投資原資としての内部留保を確保するとともに、株主還元の充実と資本効率の向上を図るため、総還元性向の目標を45%と定め、安定的な株主配当と計画的な自己株式取得を実施してまいります。」

この方針に基づき、自己株式の取得を実施するものです。なお、取得した自己株式は150,000株を残して消却する予定です。

(2) 取得に係る事項の内容

- ① 取得する株式の種類 当社普通株式
- ② 取得する株式の総数 2,250,000株 (上限)
- ③ 株式取得価額の総額 4,500百万円 (上限)
- ④ 自己株式取得の期間 2024年3月18日から2024年8月13日まで
- ⑤ 取得方法 取引一任方式による市場買付け

3. その他

販売費及び一般管理費の明細(連結)

科目	前第3四半期 連結累計期間 (自 2022年5月21日 至 2023年2月20日)		当第3四半期 連結累計期間 (自 2023年5月21日 至 2024年2月20日)			(参考) 前期 2023年5月期 (自 2022年5月21日 至 2023年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費 ※1	16,875	5.0	19,021	5.4	112.7	22,712	5.1
配送運賃	17,021	5.1	16,326	4.7	95.9	21,843	4.9
業務外注費	3,555	1.1	3,690	1.1	103.8	4,748	1.1
業務委託費	8,954	2.7	8,412	2.4	93.9	11,696	2.6
地代家賃	8,140	2.4	8,339	2.4	102.4	10,835	2.4
貸倒引当金繰入額	12	0.0	△30	△0.0	—	16	0.0
減価償却費 ※2	2,492	0.7	2,921	0.8	117.2	3,451	0.8
ソフトウェア償却費 ※3	2,050	0.6	3,602	1.0	175.7	2,739	0.6
その他諸経費 ※4	10,862	3.3	12,419	3.5	114.3	14,375	3.2
合計	69,965	20.9	74,703	21.3	106.8	92,420	20.7

※1 前年同期と比較して、当第3四半期連結累計期間の人件費が増加しておりますが、主な要因は、人員増および株式会社AP67他4社の連結による影響であります。

2 前年同期と比較して、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が増加しておりますが、主な要因は、2022年11月の「ASKUL東京DC」の稼働による影響であります。

3 前年同期と比較して、当第3四半期連結累計期間のソフトウェア償却費が増加しておりますが、主な要因は、2023年7月のBtoB事業における新アスクルWEBサイトの本格稼働による影響であります。

4 前年同期と比較して、当第3四半期連結累計期間のその他諸経費が増加しておりますが、主な要因は、BtoB事業におけるテレビCMの放映およびインターネット広告の強化による影響であります。